

報告日：令和4年11月25日

名 称	令和4年度第1回鹿沼市公設地方卸売市場運営協議会
日 時	令和4年11月24日
場 所	鹿沼市公設地方卸売市場事務所棟2階会議室
出席者	市長 委員：福田副市長、由田ヤエ、関口正一、館野裕昭、神山俊明、岡島重美、柏渕良平 松島良子 幹事：竹澤英明 事務局：池澤農政課長、津吹農政係長、柏木
内容及び結果等	協議事項 鹿沼市からの諮問について 事務局から諮問内容について説明（資料1・2） 質疑 柏渕 市内に売上が6億ある会社はほとんどない。それだけの売上があれば、事業計画を作成し、きちんと運営することで立て直しができるのではないかと考えている。 事例として白河の市場は立て直した。 小売商組合は80名の組合員が利用している。出荷農家は100名近くいる。市場がなくなって困る人は多いはず。特に農家にいたっては直売所ですら出荷量に規制がかかっている状態。出荷先がなくなってしまうと、農業自体を辞める人が出てくると思う。 館野 卸売会社の社員が8名で農家100軒という事だが、市としては市場を閉場したときの影響をどのように考えているのか？ 生産者からすれば、売値の高い安いより全量取引が優先されると考えている。作ったのに売れなければ廃棄するしかない。 事務局 利用者への影響はあると思うが、その影響を少なくするため2年間という閉場までの期間を用意している。その期間の間で、他の市場や直売所、スーパーなどへ取引を移行できるよう交渉を進める。 柏渕 大規模小売店舗立地法で仕入れの1割は地元から調達になっていたはず。 竹澤 大店立地法の中では、義務ではなく努力義務だったと思われる。 事務局

	<p>宇都宮市では立地に対し、中央卸売市場を使うことを条件をとっていたようだが、鹿沼市で条件は付けていない。</p>
	<p>柏淵</p> <p>金額が合わないからやめるとするのは冷たいのではないか。市場利用者は少ないかもしれないが、少数の人の事も考えてほしい。</p>
	<p>神山</p> <p>過去に宇都宮のスーパーへ卸していたが、本社の方針という事で取引がなくなったことは事実としてある。その辺から運営が悪くなった。</p> <p>市場には転送という機能があり、全国の物を集めることができる。この機能があるから全国の野菜を輸送費がかからず安く購入ができるのであって、閉場してしまうと、市場から食材を購入している学校給食や保育園などは材料費が僅かだが上がるので困るのでは。</p>
	<p>関口</p> <p>委員としての立場から言えば、続けてくれが当たり前としての意見。</p> <p>そもそも、市としての方向性が決まっているのに、こんな会を開いて意味があるのか？ 諮問に対する答申を市場の方針として取り上げてくれるのか？</p> <p>話を聞いていると、これまで市は金を出しているだけのように思う。もっと会社と話し合いの場を設け、市場がよくなるよう取り組むべき。今のままとはいかないが、縮小してでも続けるという考えもあるのでは？</p>
	<p>事務局</p> <p>今回はあくまでも市としての提案について諮問しているのであって、各委員から答申をいただき、次回の協議会で内容をとりまとめ、会としての答申を出すことになる。市としてはその答申を受け、改めて検討し市場の方針を決定していく。</p> <p>令和2年度から使用料が全額減免の3か年度の間に経営改善をするため、卸売会社とは経営について話し合ってきたが、経営の改善はなされなかった。</p> <p>今年度については毎月試算表について説明をいただき、経営状況のチェックをしている。</p>
	<p>館野</p> <p>答申をするにあたり教えてほしい数字がある。市場に出荷している農家のうち鹿沼市の出荷者がどのくらいの量を出しているか教えてほしい。</p>
	<p>神山</p>

	<p>壬生や日光を含め月に 3,400 万円程度。単純に考えれば 12 倍した数字になる。</p>		
	<p>館野</p>		
	<p>単純に 12 倍という事はないと思う。</p>		
	<p>他市からの持ち込みが多いのであれば、他市町から補填をしてもらうという考え方もある。</p>		
	<p>岡島</p>		
	<p>青果出荷組合は当初から広域で構成されているため鹿沼分だけを出すという事は難しいと思う。感覚的に市場への出荷量の半分以上は市外の地域から出荷されている。鹿沼市の農家の出荷量は半分未満だ。</p>		
	<p>市場を閉場した場合、JA 出荷をしていない高齢農家はやめていくと思う。しかし閉場は仕方がないこと。閉場しても高齢農家が継続できる何かを考えてほしい。</p>		
	<p>せつかくの機会なので 2 年間で今後の進め方など何回も会議を重ねたほうが良い答えが出せるのではないか。</p>		
	<p>松島</p>		
	<p>数字を見ると閉場は仕方がないが、ここを利用している人を第一に考えてあげたい。農業をやめてしまうという事は避けたい。</p>		
	<p>竹澤</p>		
	<p>今回の閉場についてだが、市の考えとしては特別会計の採算のことだけではなく、市場ができてから 47 年が経過し施設自体の老朽化が進み危険な状態にあるという事をご承知おきいただきたい。改修費用である使用料が入ってこない状況下で老朽化した施設を使う危険性などを踏まえ閉場の案を出している。</p>		
	<p>福田</p>		
	<p>回答を 12 月 9 日までに出していただき、次回、会としての答申をまとめたい。</p>		
	<p>その他</p>		
	<p>次回日時 令和 5 年 1 月 13 日（金）午前 10 時</p>		
記 録 者	<p>柏木</p>		
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況  （該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）</p>			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	<input type="checkbox"/> 非公開	（公開の場合）傍聴人数 0 人

